



# ちゅうごくしこく

第 41 号  
平成 30 年 10 月  
発行



広島県広島市安芸区矢野東



広島県呉市安浦町



岡山県倉敷市真備町



愛媛県大洲市徳森

## 防衛 白書

平成 30 年 版  
日本の防衛

### 目 次

- ◆ 小野寺防衛大臣による災害派遣部隊視察
- ◆ 陸・海・空自衛隊による災害派遣(平成30年7月豪雨)
- ◆ 平成30年7月豪雨における中国四国防衛局の対応
- ◆ 陸上自衛隊第13旅団長山根寿一陸将補 御挨拶
- ◆ 海上自衛隊幹部候補生学校長南孝宜海将補 御挨拶
- ◆ 日米交流事業「日米合同スポーツ交流 in IWAKUNI」開催
- ◆ 岩国市民文化会館リニューアル竣工式
- ◆ 日本原演習場における米軍単独訓練に係る津山市長の岩国基地申し入れ
- ◆ イーゼス・アショアの議会全員協議会・地元説明会開催
- ◆ 平成30年度優秀工事等顕彰状贈呈式
- ◆ 第68回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会開催
- ◆ 人事異動(企画部長)の御挨拶
- ◆ 職員の独り言

防衛白書は、防衛省・自衛隊ホームページに掲載されています。右QRコードでご覧頂けます。⇒



編集・発行 中国四国防衛局

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30

Tel 082-223-7109





# 小野寺防衛大臣による災害派遣部隊視察

小野寺防衛大臣は、平成30年7月豪雨における災害派遣部隊視察のため、平成30年7月16日(月)に広島県の広島空港地区(物資輸送等拠点)、海自江田島地区(給水支援、土砂除去)、護衛艦かが(入浴支援)、被災地である広島市安芸区矢野東地区(土砂除去等)、平成30年7月22日(日)には愛媛県の宇和島市吉田公民館(給水・給食・入浴支援)、吉田病院(給水支援)、野村小学校(入浴支援)、岡山県の倉敷市真備(給水・入浴支援、ごみ除去等)を訪れ、活動する自衛隊員に対して暑さに十分に気を付けて被災者の皆さんに寄り添って対応するよう声を掛けられました。



広島空港地区(物資輸送等拠点)



海上自衛隊呉基地 護衛艦「かが」(入浴支援)



被災地:広島市安芸区矢野東(土砂除去等)



野村小学校(入浴支援)



吉田病院(給水支援)



# 陸上自衛隊による災害派遣（平成30年7月豪雨）



救助活動



捜索活動



輸送活動

除去活動

道路啓開



給水支援

入浴支援

給食支援



巡回診療活動

平成30年7月5日から西日本地域に降り続いた豪雨により各地で土砂崩れなどの災害が発生し、京都府、高知県、福岡県、広島県、岡山県、愛媛県及び山口県の各知事から陸上自衛隊中部方面隊及び西部方面隊の部隊に対して災害派遣要請があり、人命救助、給水支援、入浴支援、給食支援、物資輸送、水防活動、道路啓開及び瓦礫処理等を行い、平成30年8月18日（土）、岡山県知事からの撤収要請を最後に全ての人命救助活動等を終了しました。

この間、海上自衛隊及び航空自衛隊の災害派遣を含め、最大時約33,100名の隊員が災害派遣活動を行いました。

（自衛隊の災害派遣活動は防衛省・自衛隊HP（QRコード）によりご覧いただけます。⇒）





# 海上自衛隊による災害派遣(平成30年7月豪雨)



海路からの救助・捜索支援



救助・捜索支援



救助・捜索支援



統合輸送



統合輸送



学生派遣



給水支援



給水支援を行う陸自車両に対する給水支援



入浴支援



入浴支援



入浴支援



入浴支援



入浴支援



演奏支援



演奏支援

平成30年7月7日(土)呉市阿賀で発生した土砂崩れにより行方不明者が発生、海上自衛隊では陸路が不通となったため、作業隊、警備犬班、移動衛生隊を乗船させた艦船を出港させ、警察、消防と協力して要救助者の捜索にあたりました。

その後は、給水支援、入浴支援、物資輸送、陸上自衛隊の給水活動の支援を行いました。(海上自衛隊の災害派遣活動はQRコードでご覧いただけます。⇒)





# 航空自衛隊による災害派遣（平成30年7月豪雨）



航空機による物資輸送（左からC-130、C-2、CH-47）



警備犬による搜索活動



救助活動・土砂除去等



物資輸送



給水活動

平成30年7月5日（木）から降り続いた豪雨被害に対し、航空自衛隊西部方面航空隊は給水支援、物資輸送等の災害派遣活動を行いました。

陸上自衛隊を主力とする派遣部隊及び関係する地方自治体と連携し、広島県三原市、呉市を中心に広島空港を拠点に、また、宇和島市役所、善通寺駐屯地にも隊員を派遣し活動を行いました。（航空自衛隊の災害派遣活動はQRコードでご覧いただけます。⇒）



# 平成30年7月豪雨における中国四国防衛局の対応

## ○民間船「はくおう」による支援

今般の災害にあたり、防衛省は民間船「はくおう」を活用した被災地支援を実施し、中国四国防衛局からも支援要員として延べ314名の職員を派遣しました。

広島県三原市の尾道糸崎港において、7月15日から29日までの間、同市内の被災者の方々を中心とした入浴支援が実施され、船内では陸上自衛隊の音楽隊による演奏会も実施されました(期間中の利用者は延べ5,562名)。

また、尾道糸崎港での入浴支援終了後、岡山県玉野市の宇野港(8/3~13)及び同県倉敷市の水島港(8/14~18)に移動し、同県倉敷市及び総社市の被災者の方々への1泊2日の宿泊支援を実施しました。船内では、陸上自衛隊の音楽隊による演奏会や自治体による仮設住宅への入居相談等が実施されました(期間中の利用者は延べ417名)。



はくおうスタッフの  
皆さんへ  
このたび、東京から  
のため遠い広島まで来  
た下さりありがとうございます  
まあとても気持ちいい湯  
ふねに入れてとてもうれ  
しいです。湯ふねから上がって  
おやすみなどしてくれ  
ありがとうございます。  
これからもよろしくおねがいし  
お体にも気をつけてください。

## ○被災者に対する入浴輸送支援

中国四国防衛局は、避難所にいる被災者の方々(期間中の利用者は延べ480名)に対して、7月18日より呉市天応地区の避難所から呉ポートピアパーク(7/18~8/5)及び坂町雇用促進住宅(8/6~10)に設置された陸自入浴拠点(北熊本・第8後方支援連隊、桂・中部方面後方支援隊、海田市・第13後方支援隊、練馬・東部方面後方支援隊による支援)までの間を延べ143名の職員を現地に派遣、延べ57台の車両で送迎を実施しました。



広島県	(7/12) ● 現地訪問調査や市町職員との協働活動の際に、各避難所に配備 (7/12~14配付完了)
避難所運営	● 避難所の日々のニーズ把握
物資	● ニーズを統一的に把握し、情報を一元化するため、iPadによる物品調達システムを作成し、経済産業省の支援を得て、対応可能な避難所に配付
防災関係	● 避難所への備忘状況、生活支援等の情報提供
(防) 教育 編成、文化	● 各避難所へ公共交通機関等運行状況やボランティアに関する情報など7項目の情報を提供 (7/15から全避難所へ毎日提供)
健康・福祉 子育て	● 住宅に関する支援などの課題を随時追加 (7/19現在: 全13項目)
防災・安全	● 入浴支援ポイントへの送迎 ● 中国四国防衛局の支援により、避難所から圏内6箇所の入浴支援ポイントへワンマン車で送迎



中国四国防衛局の平成30年7月豪雨に係る取組についてQRコードでご覧いただけます。⇒



陸上自衛隊 第13旅団長 <sup>やまね としかず</sup> 山根 寿一陸将補 御挨拶



平成30年8月1日付で第13旅団長に着任しました山根陸将補です。

まずはじめに、今回の豪雨災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。そして被災された全ての皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

中国5県の防衛・警備・災害派遣等を担任する第13旅団の指揮をとることは私にとってこの上ない名誉であり、その責任の重大性に身の引き締まる思いであります。自衛隊の役割が拡大される中、皆様の期待に応えるべく「信頼」を統率方針に、地域の皆様のご期待に応えられる即応性ある精強な旅団の育成に努めてまいる所存であります。

鳥取県の出身ですが、中国地方での勤務は初めてのことで、自治体や関係機関の皆様との連携強化を積極的に図り、地域の皆様との交流を深め、皆様のご期待に応えるべく任務に邁進して参りたいと考えております。



陸上自衛隊第13旅団HPにはこちらのQRコードでご覧頂けます。⇒





# 海上自衛隊 幹部候補生学校長 南 孝宜海将補 御挨拶

みなみ たかのぶ



平成30年8月1日付で、海上自衛隊幹部候補生学校長を拝命した南将補です。帝国海軍における海軍兵学校の歴史と伝統を継承する本校の学校長として勤務することは、大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。

本校を卒業、修業する学生たちは、将来の海上自衛隊を担うリーダーとして、部隊、機関で活躍することが期待されます。その第一歩である本校では、海を仕事の場とする海上自衛隊の幹部として必要な資質を習得させるための基本となる教育を行います。海は、あるときは平穏でやさしく、またあるときは容赦のない厳しい顔を見せます。そのような中で指揮を執ることとなる幹部候補生には、精神的・肉体的にタフで、柔軟な思考と判断力を持ち、世界と渡り合える胆力のある強きリーダーになってもらいたいと考えています。

どうぞ、皆様方からの引き続きの温かいご支援、ご協力を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。



海上自衛隊幹部候補生学校HPにはこちらのQRコードでご覧頂けます。⇒





## 日米交流事業 「日米合同スポーツ交流 in IWAKUNI」 開催

平成30年7月21日、山口県岩国市にある愛宕山スポーツコンプレックス内に新設された55FIELD (ゴーゴフィールド) 及びロータスカルチャーセンターにおいて、中国四国防衛局主催の日米交流事業「日米合同スポーツ交流 in IWAKUNI」が開催されました。

当日は、岩国市の福田市長、米海兵隊岩国航空基地司令のファースト大佐をお迎えし、岩国市内の小学生約80名と米軍岩国基地内の10才から12才程度の児童約20名が参加しました。

午前中は、陸上の為末大氏(ハードル)、塚原直貴氏(短距離)、猿山力也氏(走り幅跳び)、宮内優氏(やり投げ)の4名をゲストに迎え、陸上教室を実施しました。

午後からは、日米混合チームによるドッチボールを行い、急遽、ファースト大佐が参加されるハブニング(?)もありましたが、子供達は言葉が通じないながらも一緒に楽しい時間を過ごしました。



中国四国防衛局の日米交流事業についてはQRコードをご覧ください。⇒





## 岩国市民文化会館リニューアル竣工式

平成30年8月24日、岩国市において岩国市民文化会館リニューアル竣工式が、福田岩国市長、桑原岩国市議会議員、赤瀬中国四国防衛局長等関係者の列席のもと行われました。

岩国市民文化会館（旧岩国市民会館）は、昭和54年に建設され30年余りが経過し、その老朽化が進んでいたことから、耐震補強工事、バリアフリー化、大ホールの客席改修、2階デッキに直結するエスカレーターの設置等の大規模な改修工事が行われ、このたび晴れて竣工式をむかえたものです。

これにより、従来の市民会館と比べ、利便性と実用性が高まり、より多くの市民に親しまれる施設へと生まれ変わるとともに、災害時における避難所としての機能を有していることから、市民の安心・安全の向上が図られるものと期待しています。

本改修事業は、平成27年度から平成30年度までの間で行われ、総事業費は約32億円、そのうち基地周辺対策経費約21億円が充てられております。



福田 岩国市長による式辞



赤瀬 中国四国防衛局長による祝辞



リニューアルされた大ホール



リニューアルされた1階ロビー



エスカレーターの設置



岩国市民文化会館 外観



## 日本原演習場における米軍単独訓練に係る 津山市長の岩国航空基地申し入れ

岡山県の陸上自衛隊日本原演習場（津山市・奈義町）における米軍による単独訓練の実施について、地元から容認していただいたことから、平成30年5月11日に日米合同委員会において合意され、平成30年6月29日に津山市及び奈義町と中国四国防衛局の間で、訓練実施に当たっての当局の対応等に係る覚書の締結を行ったところです。

本訓練に関し、津山市の谷口市長は訓練実施の際の安全・安心を確保するため、平成30年7月25日に岩国航空基地司令官のファースト大佐と面会し、事件・事故が発生した場合は訓練を中止し適切な措置を講じる等、文書にて申し入れを行いました。

谷口市長の申し入れに対し、ファースト大佐から「日米相互協力及び安全保障条約に定められた米軍の責務を果たす軍の能力を確実なものとするためには、訓練が極めて重要」であるとした上で、「地元の皆様のご不安を少しでも軽減できるよう、海兵隊員が覚書の内容を最大限尊重するよう指導します。」旨の内容を文書にて回答されました。

ファースト大佐との面談後、谷口市長は、「ファースト大佐の真摯な対応と誠意ある回答を受け、私としましては、安全・安心な訓練実施がなされるとの思いをより強く持ったところです。」とコメントされました。

中国四国防衛局としては、日本原演習場における米軍単独訓練が円滑に実施されるよう努めてまいります。

◆津山市長の申し入れ文書及び岩国航空基地司令官からの回答文書は津山市ホームページで閲覧できます。  
<https://www.city.tsuyama.lg.jp/life/index2.php?id=6570>



## イージス・アショア 萩市議会及び阿武町議会全員協議会、 萩市民及び阿武町民への地元説明会開催（7月、8月）

平成30年7月下旬に、第2回目となる地元説明会を、また、8月下旬には第3回目となる地元説明会を実施いたしました。赤瀬中国四国防衛局長及び五味防衛政策局戦略企画課長ほかが萩市議会及び阿武町議会の全員協議会、萩市民及び阿武町民の方々に対し、第2回地元説明会では、イージス・アショアの必要性和配備候補地の検討過程を中心に説明し、第3回地元説明会では、イージス・アショアに係る周辺への影響と適地調査を中心に説明しました。延べ約1,160人もの方々に参加していただき、議会議員及び住民の方々から貴重なご質問やご意見等をいただきました。

説明の中で赤瀬局長及び五味課長は「住民の皆様には不安を軽減、払拭できるよう丁寧に説明していく」と述べ、議会議員及び住民の方々に繰り返し真摯に対応していくことを伝えました。

議会全員協議会・住民説明会の日程

第2回		第3回	
7月20日(月)	萩市議会全員協議会	8月26日(日)	萩市民館(住民説明会)
7月21日(火)	萩市むつみコミュニティーセンター(住民説明会)	8月27日(月)	萩市むつみコミュニティーセンター(住民説明会)
	萩市サンライフ萩(住民説明会)	8月28日(火)	萩市議会全員協議会
7月22日(水)	阿武町のうそんセンター(住民説明会)		阿武町のうそんセンター(住民説明会)
7月23日(木)	阿武町議会全員協議会	8月29日(水)	阿武町議会全員協議会
	阿武町町民センター(住民説明会)		阿武町ふれあいセンター(住民説明会)



# 平成30年度優秀工事等顕彰状贈呈式

平成30年7月3日、広島市中区の広島合同庁舎で平成30年度優秀工事等顕彰状贈呈式を開催しました。本年度の顕彰者は優秀工事25社で、平川貢調達部長からそれぞれに顕彰状を贈呈しました。

本贈呈式は、今回で9回目を数え、平成29年度に完成した工事・業務の中から、工事・業務成績評定や現場における創意工夫並びに施工努力等を総合的に評価し、他の模範とするにふさわしい工事・業務を選び、その請負者等を顕彰するというものです。

## 優秀工事

岩国飛行場(H27)下士官宿舎新設電気 その他工事 浅海電気株式会社	岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (6工区)新設建築工事 井森工業株式会社	岩国飛行場(H28)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (5~9工区)新設機械工事 エルゴテック株式会社
岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (1~7工区)新設機械工事 株式会社大嶋商会	岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)給排水 整備工事(その2) 奥村組土木興業株式会社	岩国飛行場(H27)低層住宅(9工区) 新設建築工事 株式会社カシワバラ・コーポレーション
岩国飛行場(27)護岸(439)(2工区)整備工事 勝井建設株式会社	陸自美保(28)格納庫新設土木工事 山陰緑化建設株式会社	善通寺(28)車両整備工場新設機械工事 株式会社三共冷熱
岩国飛行場(H27)下士官宿舎新設電気 その他工事 株式会社サンテック	岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (5工区)新設建築工事 白木産業株式会社	岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (5工区)新設建築工事 株式会社砂原組
善通寺(28)車両整備工場新設土木工事 大企建設株式会社	岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (18工区)新設建築工事 株式会社太昭組	岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (1~7工区)新設機械工事 大成温調株式会社
岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (14~18工区)新設機械工事 大成設備株式会社	岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)警衛所 新設土木工事 長畑建設工業株式会社	岩国飛行場(28)護岸(439)(1工区)整備工事 株式会社ナルキ
岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)給排水 整備工事(その2) 日栄興業株式会社	岩国飛行場(H28)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (5~9工区)新設機械工事 株式会社藤本設備	善通寺(28)車両整備工場新設電気その他工事 三笠電機株式会社
岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (6工区)新設建築工事 安本建設株式会社	岩国飛行場(28)護岸(439)(1工区)整備工事 ユタカ工業株式会社	岩国飛行場(H27)愛宕山(住宅地区)低層住宅 (18工区)新設建築工事 洋林建設株式会社
岩国飛行場(H28)下士官宿舎等新設土木工事 好村建設株式会社		

※記載の順番は50音順です。



平成30年度優秀工事等顕彰者記念撮影



## 第68回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会開催



平成30年6月28日、岩国市内のシンフォニア岩国に於いて、第68回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会を開催しました。今回の委員会では、平成30年1月から4月までのアマモ類の分布状況等のモニタリング調査結果が報告され、委員会での承認を得るとともに、今後の調査方針等が示されました。

(藻場・干潟回復調査研究委員会の概要は、右のQRコードからご覧いただけます。⇒)



## 人事異動の御挨拶(平成30年8月3日付)



ほんだ ひろみつ  
(企画部長 : 本多 宏光)

平成30年8月3日付けで、企画部長を拝命しました本多です。中国四国防衛局は初めての勤務になります。

前職は、沖縄防衛局で管理部長に就いていました。中国四国防衛局ではその管理部の業務を含めて地元調整、周辺対策事業など企画部長の所掌となるので、その職責の広さに驚くと共に、中国四国地方9県に及ぶ所管区域の広さにも驚いています。

現在当局では、イージス・アショアの配備に係る諸調整、岩国航空基地への艦載機部隊の移駐完了による諸問題、美保基地への空中給油・輸送機配備などの諸課題が山積しています。いずれの課題についても解決に向けて地元の皆様の御理解と御協力が不可欠でありますので、企画部長として御理解が得られるよう誠心誠意努めて参りますので、よろしくお願いたします。



## 職員の独り言

私は、平成27年4月1日付けで新規採用となり、企画部地方調整課に配属されました。地方調整課では、米軍施設への立ち入りに係る調整や米軍の訓練に係る調整の業務などに取り組んできました。米軍施設の状況や機能について学ぶことができるのはとてもよい経験でした。

本年4月1日からは企画部施設補償課の配属となりました。今までとは全く違う業務で戸惑いの毎日ですが、魚名や漁法といった漁業に関する専門知識を学ぶことができ、また、漁協の方々とお話しさせていただく機会があり、漁業の実態、水揚資料及び漁船などを実際に目で見て確認することができるので、大変やりがいのある仕事だと感じています。

関係自治体や各関係漁協などとも一日も早く信頼関係を築けることができるように業務に邁進していきたいです。

プライベートでは、広島からの高速バスなどを利用し、観光名所を回ったり、イベントに参加したりして、仕事とプライベートの両立をはかりながら、



うめばやし みちや  
(施設補償課 梅林 道弥)

日々を過ごしています。

# 日本の「アメリカ」で 働きませんか

「エルモ」が応援！  
あなたの就活！



## ●在日米軍基地で働くとは

我が国には、日米安全保障条約に基づき、在日米軍が駐留しています。

この在日米軍の任務遂行のために必要な労働力は、国(防衛大臣)が雇用し、在日米軍に提供しています。

在日米軍基地で勤務している方々は、在日米軍従業員又は駐留軍等労働者と呼ばれ、事務や技術、販売等多様な支援業務を行っています。

在日米軍においては、それら多様な支援業務に関する豊富な知識や経験を持った即戦力となる方を求めています。

エルモホームページでは、在日米軍基地  
従業員の求人情報を掲載しております。

興味のある方は、岩国支部または呉分  
室までお問い合わせ下さい。

### ①インターネットによる応募(24時間) 求人情報(スマートフォン)

LMO

検索



### ②ハローワーク(職業安定所) 応募

最寄りのハローワーク窓口へ

### ③窓口応募 (①又は②の応募受付後、③の窓口に応募書類を提出します)

下記支部にて受付中 (土日祝、年末年始を除く8:30~17:15)

■岩国支部

■呉分室

岩国市中津町2-15-35

呉市中央1-6-9センタービル呉駅前

0827-21-1271

0823-32-7087



独立行政法人

駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】岩国支部